

～間違いを犯したことの無い者は  
何も新しい事に挑戦したことがない～【アインシュタイン】

## 5/25(金)卒業生ごきげんよう(振り返り)

体育祭も終わり、いよいよ気持ちが進路一本となっていることでしょう。そこで、5/25(金)のチャレンジで行なわれた『卒業生ごきげんよう(卒業生の話を聴く会)』のことを振り返ってみましょう。今年は40・41期の卒業生が来てくださりました。

### (株) 吉田泰産業 K・Mさん



1組は41期のKさんに来ていただきました。高校時代は軽音楽部の部長をされていましたが、1・2年のときは遅刻が多かったそうです。しかし、顧問の先生の一言で自分の意識が変わり、遅刻が減ったとのこと。また、自分の中の当たり前が、社会では普通ではないということを学んだようです。これが今、仕事がしんどくても大きな支えになっ

ているとおっしゃっていました。木下さんからのメッセージは「授業や先生の話で、自分の関係のない話でも、自分に言われていると思ってしっかり聞いてください。授業では意識を変えて集中し、自分が出来ることに最善をつくして欲しい。」とのこと。です。

### ナンクルナイサーケアネット N・Rさん

面接の話と、仕事のやりがいの話が特にみんなに響いたのではないのでしょうか？

「面接練習はいくらやっても足りない、本番では頭が真っ白になってしまう。上手くいかず、泣きながら練習を繰り返したけど、それでも足りなかった。」「社会に出てからは、自分のミスであっても自分だけでは責任を負えない。責任を持つからこそ、感じられるやりがいもある。」「利用者さんには、「ごめん」と言われるより、「ありがとう」と言ってもらいたい。」

今回聞いた貴重なお話を、これからの取り組みにつなげていきましょう。



### 株式会社ダイケンビルサービス I・Mさん 医療法人 錦秀会 U・Mさん

3組は社会人2年目と3年目の二人の卒業生を迎えて、お話をいただきました。

学生時代、部活動にアルバイトに就職活動に精を出した二人ですが、就職後は非常に大変な思いをしているようです。

「高校生のときは、高校って厳しいと思っていた。でも社会では、高校で通じていると思ってた常識や価値観は通じない。今のうちにたくさん一生懸命になって、たくさん勉強してほしい。」

「自分の決断を、絶対に人のせいにはしないで。『先生がすすめたから』『先生がとめてくれへんかったから』とか、ただの言い訳。最終的にその決断をしたのは自分だということを忘れないで。」

大変なだけではなく、仕事にやりがいもある、と語ってくれた二人。進路への意識が高まる中で、卒業生のお話を聴く皆のまなざしは真剣そのもの。これをきっかけに、ますます進路への意識が深まったと感じました。



### タケダ美容室 M・Rさん

美容アシスタントとして働く40期の先輩にお話を聞かせていただきました。

卒業式の2日後から勤務が始まった先輩はさっそく社会の厳しさに直面しました。遅刻・欠勤は許されない。返事は聞こえないと意味がない、挨拶は自分から・・・など。学生時代に部活動をしていたので、“ちゃんとできている自信”があったが、社会人に求められるものは圧倒的に厳しく「辞めたい」と思うことも。しかし、そう簡単に投げ出すわけにはいきまいと奮闘中とのこと。また、お客様に感謝の言葉を頂くことや、お客様の笑顔は他のどんなものにも代えがたい喜びであることも教えていただきました。就職活動については何度も自己PRを書き直し、面接練習を繰り返したということも教えていただきました。活躍される先輩に続くために、面接練習・テスト全力でがんばりましょう！



## サンコーExpress I・Rさん

高校3年時では部活のキャプテンを務めながら、部活後に面接練習、自己PR添削、アルバイトの日々。ハードな生活も、自分自身の将来を考え行動に移していた先輩の話に感銘を受けたと同時に「もっとやらないと。」と危機感も覚えた時間でした。仕事では、お客様宅への家具搬入に注意を払うことはもちろん、家にあがる時の靴下の色や靴の脱ぎ方が「これぐらいはええやろ。」と思うことでも叱られ、勉強の日々。会社から教えてもらったことを素直な気持ちで聞くことの大切さを学びました。挨拶や時間を守ることなど、やるべきことをやった上で、「自分の大切なものに一生懸命になってほしい!」と熱いメッセージを胸に、進路に向けて頑張っていきたいと思います。



## 大阪保健福祉専門学校 T・Hさん

## 梅花女子大学 I・Nさん



大学・専門学校へ進学した先輩2名から、進学後に必要な教養や能力について、実体験を踏まえたアドバイスをいただきました!進学後は、自分でノートを取る、自分で調べる、自分から動く力が必要とのこと。友人同士で交わす会話も、高校時代とは違ってニュースや専門的なものになるそうです。世間には「大学で単位をとるのはチョロイ」といった情報もあるようですが、先輩からは「そういう人もいるかも知れないけど、一生懸命とりくむ学生になった方が良い」と激励されました。高校時代の今は、自分を焦らせる環境に自ら身を置くべし!とのアドバイス。自分自身を大きく成長させて、受験に挑もう!